

しちがはま 議会だより

No. 121

平成26年10月15日
宮城県七ヶ浜町議会



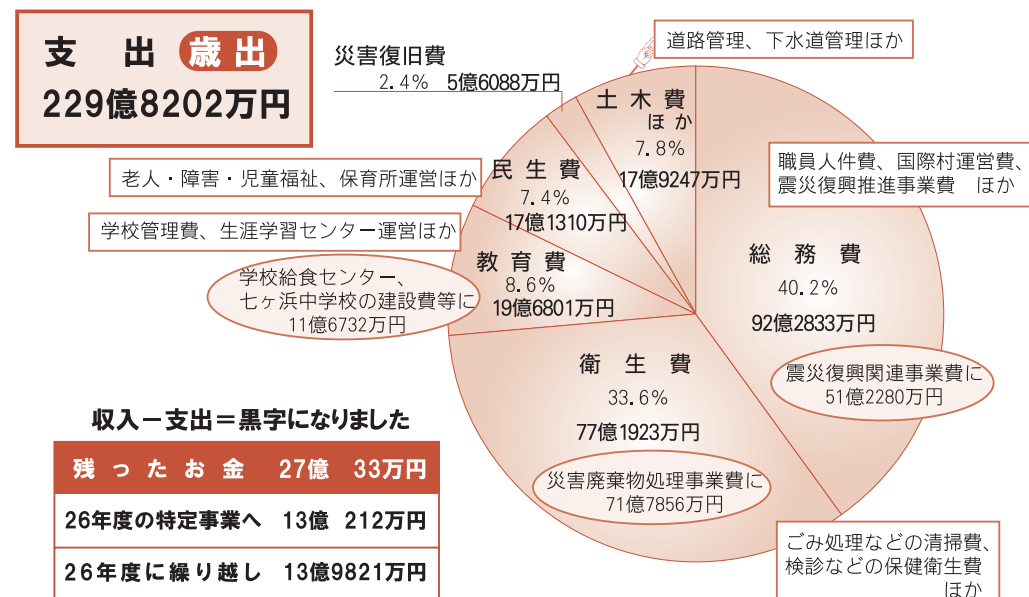
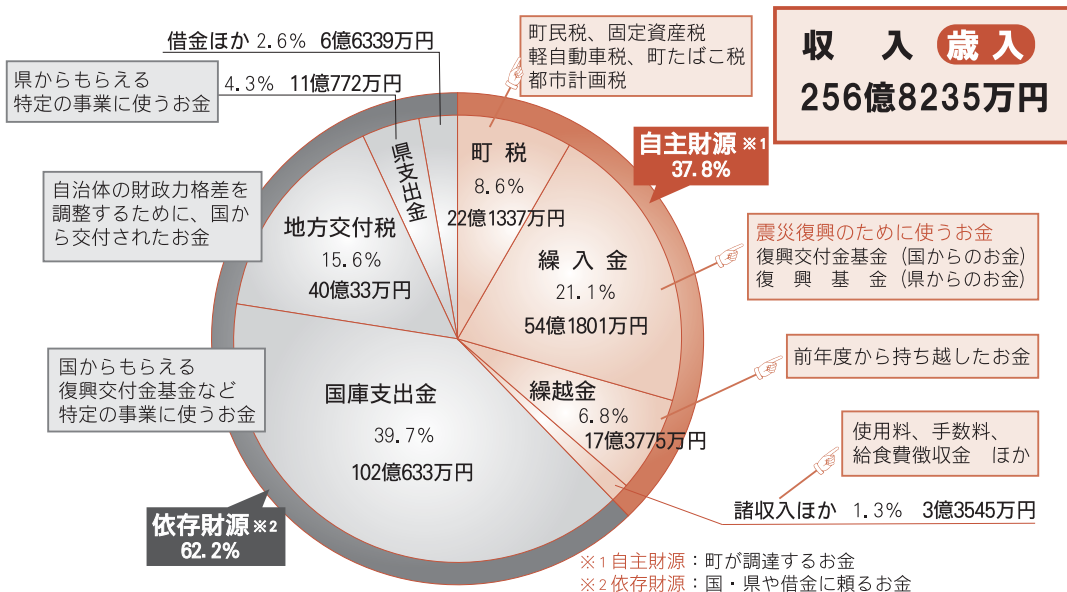
炎天下
仮設住宅を練り歩く！

特集	25年度 決算	復興が具体化	2
		地区避難所などの工事を契約	10
		町が購入した用地の利用など	4人が質問 13
		おらほのサークル紹介シリーズ	—第3回— 20

平成25年度
一般会計
決算

復興が目に見えてきました

9月
定例会



金額は合計に合わせて千の位で四捨五入しています。



造成が完了し家が建ち始めました（松ヶ浜西原地区）

9月定例会を9月3日から12日までの会期で開催しました。地区避難所整備の契約や高台住宅団地造成等の変更契約、26年度補正予算など31件の議案および議員提出議案3件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

また、一般質問は4人が町の考えをたえました。平成25年度各種会計の決算審査は、特別委員会を設置して審議しました。（審議内容は4～8ページをご覧ください。）



そつなんだ。それで復興はどのくらい進んだの？
25年度は松ヶ浜西原地区高台住宅団地等の造成が完了したんだ。また、学校給食センターも完成したよ。



それじゃあ、支出のポイントは何？
多くが復興に使われたんだ。支出の中で総務費に高台移転などの震災復興関連事業費51億2280万円、衛生費に災害廃棄物処理事業費71億7856万円、教育費に学校給食センターや七ヶ浜中学校の建設費等11億6732万円が使われているよ。



左ページの円グラフを見たんだけど、収入のポイントは何？
国庫支出金の中に復興交付金が含まれているんだ。繰入金も復興交付金基金などから繰り入れたお金、繰越金が前年度使い切れずに繰り越したお金だよ。



ポケットのボーちゃん
とこの二君
素朴なぎモン

決算審査

平成25年度の各種会計決算審査は、特別委員会を設置して9月5日から12日までの日程で行いました。
各課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答により慎重に審査しました。その後、討論・採決の結果、全会計の決算を認定しました。主な内容を要約してお知らせします。



大町 睦夫
副委員長



岡崎 正憲
委員長

どのように使ったのか 各課審査で質疑応答

ふるさと納税

問 ふるさと納税の寄付者に対する謝礼は。

答 財政課係長 初めて寄付された月から、町の広報を1年間送付している。

問 寄付金の使い道は。
答 野球場の内外野フェンスやテニス、フットサルの備品に一般寄付金から繰り入れて使っている。



新しくなりました

野球場

問 改修工事の内容は。
答 生涯学習課係長 内外野にある外周のフェンスを撤去交換。バックネットのネットを撤去新設。バックネット裏のスコアボードの交換新設などである。

震災復興

問 被災した用地の買い取りが約60%だった理由は。

答 復興整備課係長 相続関係でなかなか進まなかった。
問 買い上げた土地の除草などの管理委託は。

答 土地区画整理区域は土地区画整理事業で草刈りする予定。普通財産になった町有地は財政課管財係で草刈りを予定している。



除草などの管理を

問 移転費用補助の上限は78万円だが、内容を検証しているのか。
答 復興推進課係長 何回か移転する場合すべて対象となる。また、基礎の撤去なども対象となる。

国際村

問 国際交流員の交流回数が前年度に比べて減少した要因は。

答 国際村局長 前年度は個人的に教えていたため回数が多かった。現在、個人で教えてほしい方は国際交流協会や国際交流クラブなどに入会していただいている。

子育て支援センター

問 母子健康センターから現在地に移って、どのような点で利用しやすくなったのか。

答 地域福祉課係長 月曜日から金曜日まで毎日利用できるようになった。おもちゃを自由に出入れできるので、来たらすぐ遊べるのが好評である。



楽しくあそべるよ

災害用備蓄品

問 新たに備蓄されたアレルゲンフリーカレーライスとはどのようなものか。

答 防災対策室係長 卵などのアレルギー物質が入っていないカレーライスである。

問 調理不要とあるが、どうすれば食べられるのか。
答 総務課係長 加熱しても、そのまま常温でも食べられる。



備蓄されているアレルゲンフリーカレーライス

乳幼児の健康

問 乳幼児歯科検診に関し、歯や口腔から病気が分かる場面もあるので歯科医だけでなくいろいろ検討できないか。

答 健康増進課係長 そのほかの検診も行っているので、総合的に検討していく。歯科医に相談して保健指導に努めていく。



虫歯はないかな（歯科検診）

高木のせん定

問 樹木伐採せん定の基準は。
答 建設課係長補佐 町民から聞いたり区長からの要望を受け、道路からはみ出た部分をせん定している。



利用しやすく改善を

町民バス ぐるりんこ

問 1日の平均乗客数は。
答 政策課係長 1便当たり約6人になる。休日は5人程度。

問 今後の考えは。
答 利便性向上のため、昨年11月から5000円、今年7月から3000円の高台住宅団地や災害公営住宅団地を考えてバス路線を検討している。

問 料金をもっと安くして欲しいという要望はなかったのか。
答 アンケート調査ではなかった。存続を希望する声が多かった。

枯くい虫対策

問 枯れた松を伐倒しても、3年すると周りの松が枯れてくる。樹幹注入薬剤を直接注入するが追いついていないのでは。

答 産業課係長補佐 樹幹注入を行っている松は、君ヶ岡公園の大木や下がり松など数十本である。個人所有の山林には行っていない。
問 薬剤地上散布による環境への影響は。

答 使われている薬剤は枯くい虫には効果があるが、希釈して使用しているので他の生物に対しては影響が少ない。



薬剤地上散布をしています

討 論



…なので反対します

…なので賛成します

一般会計

反対 歌川 渡

次の点で反対する。

- ①住宅再建への町独自の上乗せ補助金、浸水区域外にある大規模半壊以上の世帯に対する町独自の支援を行わなかった。
- ②指定管理委託している施設の整備状態の確認や改修が不十分。
- ③一部において、町条例や要綱に照らした事業が行われていない。
- ④非常勤職員や臨時職員の賃金引き上げがない。
- ⑤基金の年次の取り崩しを行い、住民等の負担軽減と要望施策を進めるべきではなかったか。

賛成 阿部慶也

地方自治体のおかれている現在の厳しい財政状況の中にあつて、自主財源をはじめ依存財源の確保に最大の努力をしている。

一方、歳出では管理経費の節減に努力した跡が随所に見られ、財政運営の効率化や健全化に細心の注意を払っている。
その他、補正した以上に不用額の生じた科目があり、適切であったとは言いが、決算を不認定にするほどの重要要因にはなり得ないと考ええる。

下水道事業

反対 歌川 渡

一般会計からの繰り入れを増やし、平準化債や借り換え債の活用による還元分を町民に返すことで料金引き下げが可能になる。

賛成 糸久 博

実質収支は黒字で健全な事業を運営している。また、下水道の普及率や水化率が高く、生活環境の保全に貢献している。

国民健康保険

反対 歌川 渡

町民の負担軽減のために必要以上の基金の積み立てを取り崩し、国に対しては負担割合を求めることが行政の責務である。

賛成 遠藤喜二

保険税の収納率向上と保険事業医療適正化に努めている。基金積み立ては災害対応や流行性疾患、高額医療に充てるものである。

介護保険

反対 歌川 渡

介護事業者任せではなく、介護を受ける人が十分なサービスを受けているかを調査し、予防や症状の軽減を図る手立てが必要である。

賛成 千葉志美枝

介護保険の果たす役割や重要性が今後益々求められる中、限られた予算で効果を生みだした町の事業展開を大いに評価する。

後期高齢者医療

反対 歌川 渡

少子化傾向が進めば、高齢者の負担が増えていく制度である。早急に廃止し、現制度前の老人保健制度に戻すのを求める。

賛成 渡邊 淳

保険料の軽減措置など、低所得者に配慮している。保険基盤安定繰入金も増額され、経営面も安定した内容になっている。

水道事業会計

反対 歌川 渡

震災の復旧費は大半が国の負担や補助で事業を行っている。積立金の計画的な取り崩しを行い、使用料金の引き下げを求める。

賛成 鈴木初雄

配水管敷設事業や配水池改修事業などを実施している。水道料金等のコンビニ収納など努力により安定運営が見られる。

※公園墓地は

反対なく全会一致で可決

学校教育

問 非常勤講師に関し、各学校で見直しを含め効果的に活用していくことが必要とあるがどうだろうか。

答 教育長 当初狙いとしていた学習補助業務だけでなく、それ以外の業務も多い。7割くらいがほかの業務になっているので、本来の配置目的に沿った活用をしたい。各学校に補助員を配置して穴埋めをし、非常勤講師が学習指導に専念できる体制をつくりたい。

問 小中学校一斉の津波避難訓練の内容は。

答 教育総務課長 下校後に津波警報が発令したという想定で行った。子どもたちが自力で各地区の避難所に避難することが大きな狙いで、家の人に避難場所の書き置きをして避難する方法とした。



26年度の避難訓練（汐見小）

会 計 名	収 入	支 出	差 引 額	採決の結果
一 般 会 計	256億8235万円	229億8202万円	27億 33万円	賛成14：反対1
下 水 道 事 業	9億8101万円	9億7842万円	259万円	
国 民 健 康 保 険	23億2737万円	22億5051万円	7686万円	
介 護 保 険	14億1888万円	13億9528万円	2360万円	
後期高齢者医療	1億5319万円	1億5018万円	301万円	
公 園 墓 地 事 業	1750万円	1689万円	61万円	全 員 賛 成

水道事業会計	収益的 ^{*1}	6億1894万円	5億2125万円	9769万円	賛成14：反対1
	資本的 ^{*2}	1399万円	6940万円	▲5541万円 ^{*3}	

*1 収益的・・・経営に伴い、発生が予想される収入と費用

*2 資本的・・・将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入

*3 不足分は積立金（留保資金）などで補てん

監 査 の 意 見

代表監査委員
遠藤 均 さん



一般会計の歳入の状況は、町税が前年度から5・8％増加した。これは町民税の個人所得割や固定資産税の増などによる増収が主な要因である。

一般会計の決算規模は、前年と比較すると減少したものの東日本大震災前の平成22年度と比較すると歳入歳出それぞれ約4倍に増加している。これは震災関連による増が主な要因で、実質的には引き続き厳しい財政状況である。

今後の財政運営にあたっては震災関連の予算編成となる。復興・復興に向けた中長期的な展望のもと、今後予想される震災関連の維持管理を含め、経常経費の抑制と点検を行う必要がある。

また、関係法令や条例等に従い限られた財源を重点的、効率的な配分と計画的な事務事業の推進を望む。

補正 予算

一般会計へ23億9054万円追加し
241億7872万円に

復興土地区画整理事業の工事
などに追加
2億2681万円



早期完成に向けて（菖蒲田浜林合地区）

災害公営住宅の建設整備に追加
6億4882万円

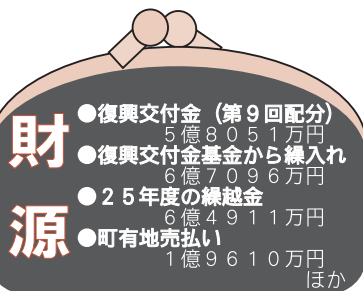
復興事業が進みます

- 財政調整基金**
（町の預金です）
6億4911万円追加し、6億9978万円に
- 復興交付金基金**
（国から交付された復興事業に使うお金です）
7億2759万円追加し、7億3271万円に
- 復興基金**
（県から交付された復興事業に使うお金です）
2837万円追加し、2859万円に

基金へ積立て

図説
建設場所と内容は、
産業課長補佐 菖蒲田浜東原に建設する。農業機械の格納庫は、JA跡地に建設し、町生産組合に管理運営を委託する。

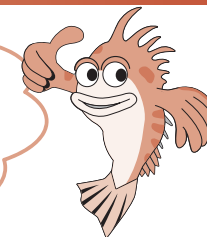
育苗施設等の建設に
4536万円



※金額は千の位で四捨五入しています。



まちの財政状況をお知らせするよ



財源構造

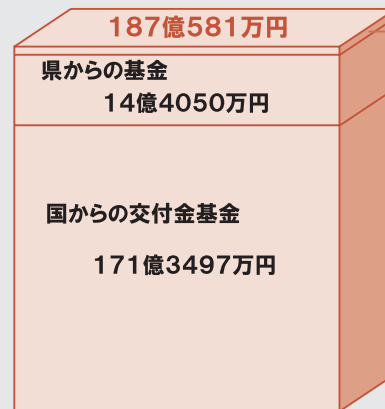
区分	平成25年度	平成24年度	県平均 (平成24年度)	説明
財政力指数	0.60	0.60	0.49	標準的な運営経費を、自主財源で賄えることを示した指標。大きいほど財源に余裕がある。
経常収支比率	99.3%	102.2%	89.5%	必要な経費（人件費、扶助費など）に対し、自由に使えるお金の割合。低いほど財政に弾力性がある。
経常一般財源比率	89.7%	90.2%	—	歳入構造の弾力性を示した指標。100を超えると余裕がある。

健全化4指標

区分	平成25年度	平成24年度	県平均 (平成24年度)	説明
実質赤字比率 15.00%※1	なし	なし	なし	普通会計（一般会計と公園墓地会計）の実質的な赤字を示す割合。
連結実質赤字比率 20.00%※1	なし	なし	なし	公営企業などを含む全会計に占める赤字の割合。
実質公債費比率 25.0%※1	5.2%	7.5%	10.6%	自治体の収入に対する借金返済額の割合。
将来負担比率 350.0%※1	算出されず	算出されず	40.8%	将来にわたる実質的負債「借金」の割合。

※1早期健全化基準の指標です。1つでも超えると歳入増加や歳出削減などの財政健全化計画を策定しなければなりません。

震災復興のための貯金



町の基金（一般寄付金）
1億3034万円

貯金は
22億1336万円

使い道の決まっている基金
8億3055万円

財政調整基金
13億8281万円

※平成24年度に比べ
1億3254万円増加

借金は

84億1038万円

下水道
46億3743万円

一般会計
37億7295万円

※平成24年度に比べ
4078万円減少

地区避難所・土地区画整理事業 工事を契約しました

議案
審議

工 事 契 約			
工 事 名	契 約 先	金 額	工 期
菖蒲田浜地区避難所建築 および環境整備工事	(株)山源工務店	8 1 0 0 万円	平成27年 3月27日
代ヶ崎浜地区避難所建築 および環境整備工事	(株)赤間建業	7 8 8 4 万円	平成27年 5月29日
要害・御林地区避難所建築	(株)熱海工務店	7 2 3 6 万円	平成27年 3月27日
土地区画整理事業整備工事 (菖蒲田浜地区)	中鉢建設(株)	9 1 5 8 万円	平成27年 3月31日
土地区画整理事業整備工事 (代ヶ崎浜 A 地区)	(株)大政産業	9 5 5 8 万円	平成27年 3月31日
土地区画整理事業整備工事 (代ヶ崎浜 B 地区)	(株)鈴正工務店	1 億 6 1 4 6 万円	平成27年 3月31日

財 産 の 取 得			
事 業 名	契 約 先	金 額	納 期 他
消防ポンプ自動車購入	(株)アオキ	1 7 8 2 万円	平成27年 2月28日 第1分団(公)に配備



完成間近の遠山地区避難所（9月撮影）

条例改正

工事変更契約

●避難所設置・管理条例
内 容
遠山地区避難所の完成に伴い、管理等必要な事項を定めるものです。これから工事・完成する施設は順次追加されます。

●高台住宅団地造成整備工事 花洲浜笹山地区
および高台住宅団地造成整備工事(吉田浜台、代ヶ崎浜立花地区)

質疑

問 公民分館との違いはあるのか。
答 総務課長 復興交付金の関係であり、公民分館として使用する。

質疑

問 増額幅が大きいので復興交付金を使うと今後の工事財源に不足が生じないか。
答 復興推進課長 第4回以降の復興交付金で申請し、交付されたので不足はない。

討論

反対 鈴木勝美
増額幅が当初契約額に對し大きすぎる。当初積算および調査のミスと思われるので、積算者の責任は重く反対する。

賛成 岡崎正憲
変更数量が大きいことは問題であり今後の教訓にする必要があるが、工事の重要性和緊急性を考慮し賛成する。

反対 歌川 渡
移転が遅れることはお詫ひするが、説明責任が果たされていないので反対する。

賛成 遠藤書一
仮設住宅入居者は待てる状態にはない。一刻も早い完了を願ひ賛成する。

採決の結果
賛成 11
反対 4
（郷右近剛史、歌川渡、鈴木勝美、鈴木初雄、賛成多数で可決）

議員

提案

全会一致で意見書を提出



知的障害者福祉施設への財源措置を求める意見書

内 容
仙台都市圏東部地域には、重度の知的障害者が通所できる施設が不足しており、施設整備に對する国・県の財政支援を要望するものです。

（仮称）手話言語法制定を求める意見書

内 容
手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、手話を言語として普及・研究することができる環境整備のための法制定を要望するものです。

地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

内 容
地域における医療及び介護の総合的な確保を推進する関係法律の整備にあたり、地域の実情に応じた国の支援を要望するものです。

提出先
衆議院議長 参議院議長
各関係大臣 宮城県知事

人 事

教育委員（再任）

佐藤 洋さん（63歳）

任期10月1日から4年間
（菖蒲田浜）

固定資産
評価審査委員（新任）

佐藤 直亮さん（70歳）

任期10月1日から3年間
（多賀城市）

工 事 変 更 契 約			
工 事 名	契 約 先	金 額	理 由
高台住宅団地造成整備工事 (花洲浜笹山地区)	佐藤工業(株)	1 6 億 3 4 5 5 万円 (6 億 4 2 8 2 万円の追加)	樹木伐採量の増加 岩質の変化 インフレスライドの増
高台住宅団地造成整備工事 (吉田浜台、代ヶ崎浜立花地区)	(株)エムテック	4 億 1 8 9 万円 (1 億 9 3 1 5 万円の追加)	樹木伐採量の増加 岩質の変化 インフレスライドの増
遠山地区避難所建築、 環境整備工事	(株)諏訪工務店	8 8 8 7 万円 (3 1 万円の追加)	アルミサッシ開口部に 吊り金具を追加
菖蒲田漁港 海岸災害復旧工事	みらい 建設工業(株)	5 億 2 5 8 0 万円 (1 6 3 5 万円の追加)	船揚場の増工 インフレスライドの増
共同乾燥調整施設 建屋新築工事	(株)諏訪工務店	7 4 1 9 万円 (7 5 万円の追加)	粉じん対策を追加

※インフレスライドとは
予期することのできない特別の事情（インフレ等）により、請負代金額が著しく不適当となった場合、一定の条件の元で変更することができる。

陳 情

常任委員会に付託しました。

●教育民生常任委員会
①子ども・子育て新制度についての陳情

陳 情 者
宮城県保育園関係団体連絡会ほか4団体

②東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず継続するための財源措置を求める陳情

陳 情 者
宮城県社会保障推進協議会

③東日本大震災で被災し、就学困難な幼児・児童・生徒に對する支援事業にかかると陳情

陳 情 者
民主教育をすすめる宮城の会

④平成26年度まで実施されている被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金を平成27・29年度までの期間も実施することを求める意見書

陳 情 者
民主教育をすすめる宮城の会

●産業建設常任委員会
①規制改革会議における農業（農協）改革に関する要望書

陳 情 者
仙台農業協同組合ほか1団体



ズバリ

一般質問一覧表

9月定例会の一般質問は、3日に行い4人が活発な議論を展開しました。

内容は質問者の原稿を原文に近い形で14ページから17ページに掲載しています。

なお、タイトルは通告のとおりです。

渡 邊 淳 14ページ

- 災害危険区域内で町が購入した住宅移転元地の土地利用について

歌 川 渡 15ページ

- 消防団員の処遇改善を
- 高台住宅造成の1戸以下の擁壁設置費に公費負担で
- 新設・遠山保育所の施設修繕について

千葉志美枝 16ページ

- 胃がんの発生を抑制するピロリ菌の除菌について

郷右近剛史 17ページ

- 遠山・境山コミュニティセンターについて
- ライフスキル教育について
- 既存の施設の整備による観光対策の推進について

※今回から傍聴される方に、一般質問の要旨が記載された資料を配布しました。

町政を問う

第3回定例会 提出議案採決結果一覧 (9/3~9/12)

議 案 名	掲 載 ページ	賛 成	反 対	議 決 結 果	阿 部 慶 也	我 妻 周 悦	千 葉 志 美 枝	郷 右 近 剛 史	歌 川 久 渡	遠 藤 久 和	角 靖 志	大 町 睦 夫	糸 久 博	遠 藤 喜 二	鈴 木 勝 美	渡 邊 淳	阿 部 和 夫	鈴 木 初 雄	岡 崎 正 憲	佐 藤 梶 信
教育委員会委員の任命（再任）	10ページ	15	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
固定資産評価審査委員会委員の選任（新任）	10ページ	15	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
職員の配偶者同行休業に関する条例の制定	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
地区避難所の設置及び管理に関する条例の制定	10ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
中国残留邦人等の帰国促進及び永住帰国後の自立支援に関する条例の整備	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
七ヶ浜町営住宅条例の一部改正	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
字の区域を新設（高台住宅団地(笹山)）	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
字の区域を変更 （菖蒲田浜字林合、花刈浜字五月田）	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
工事請負契約「平成26年度地区避難所建築及び環境整備工事」3件 （菖蒲田浜、代ヶ崎浜、要害・御林）	11ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
工事請負契約「平成26年度土地区画整理事業公共施設整備工事」3件 （菖蒲田浜、代ヶ崎浜A・B地区）	11ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
工事請負変更契約 「平成24年度花刈浜笹山地区高台住宅団地造成及び公共施設整備工事」	10ページ	11	4	可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	一
工事請負変更契約「平成25年度吉田浜台地区及び代ヶ崎浜立花地区高台住宅団地等造成及び公共施設整備工事」	10ページ	11	4	可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	一
工事請負変更契約「平成25年度遠山地区避難所建築及び環境整備工事」	10ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
工事請負変更契約「平成25年度菖蒲田漁港海岸災害復旧工事」	10ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
工事請負変更契約「平成25年度七ヶ浜町共同乾燥調整施設建屋新築工事」	10ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
財産の取得「消防ポンプ自動車」	11ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成25年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成26年度一般会計補正予算（第3号）	9ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成26年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	9ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	9ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成26年度公園墓地事業特別会計補正予算（第1号）	9ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成26年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	9ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	9ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
工事請負変更契約（追加提案） 「災害公営住宅整備事業」4件 （松ヶ浜、菖蒲田浜、花刈浜、代ヶ崎浜）	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一

○賛成 ●反対 議長（佐藤梶信）は採決に加わらない。

一般消防団員に報酬を支給せよ

町長 適正な額を検討している



うたがわ わたる
歌 川 渡

報酬額	国が交付している報酬額	本町の報酬額
役 職		
団 員	36500円	—
1回の出動手当	7000円	3600円

問 昨年12月、消防団の処遇改善として報酬、出動手当引き上げの法改正がされた。6月定例会以降、消防団との話し合いの経過は。

答 町長 7月の会議で一般団員にも報酬を支給する方向で検討することとなった。

問 一般団員の報酬も地方交付税で措置されている。これまで支給しないのはなぜか。

答 町長 町の規定では一般団員への支給の定めがないためである。



問 平成25年度に国から交付された消防団費用額と団員への支給額はいくらか。

答 町長 国から交付された額は約1516万円。町が消防団に支給した報酬等は約1032万円である。

問 検討される一般団員の報酬はいくらと考えているのか。

答 町長 近隣の市町との兼ね合いを考慮し、消防団活動に応じた適正な額を検討している。

問 被災者移転先の高台住宅造成に伴う宅地境界の擁壁設置費用は購入者の「負担の公平」から公費等でおこなうべきではないか。1㍉以上の擁壁設置は復興交付金対象外のことだが、交付金には擁壁設置の想定は

1㍉以下の擁壁設置に公費支援を

町長 1㍉以上の設置が公費負担のルール

なく費用算定されていない。過大な工事費を避けるため、隣接との高低差を1㍉以下に造成すべきではないか。

答 町長 1㍉以下は無理な状況にあった。交付金対象を確認している。

問 1㍉以下の擁壁設置者に一部助成の考えはないか。

答 町長 創設は厳しい。財政確保の可能性が出た段階で検討したい。

問 調理室前の風除対策はどのように考えているのか。

問 北風による廊下や各保育室への暴風と砂塵対策は充分か。

問 遠山保育所は平成25年度開所した。当初から不具合箇所が多数あり修繕しているが、設計や建築業者との修繕に関する話し合いの経過は。

答 町長 昨年5月県建築事務所協会に苦情相談の申し込みをし、話し合いを続け2件ほど解決している。

問 廊下に設置しているビニールカーテンで雨風の吹き付け対策は充分と考えているのか。

答 町長 事務所協会を通じ、風圧に耐えられる丈の長いものに交換するよう、改善を求めている。

問 9月中旬に風除室設置工事を予定している。

答 町長 廊下に設置しているビニールカーテンで雨風の吹き付け対策は充分と考えているのか。

問 出入口の鉄格子や施錠の安全、簡素化のため新たな門扉を設置する考えはないか。

答 町長 表示を工夫し改善したい。年数も経過していないため現状を見守りたい。

安全・安心な保育環境を修繕で解決を図りたい



業務系用地の利用促進を

問 促進策に助成金や補助金、税の減免などを組み合わせた優遇措置は考えられないか。

答 町長 現在関係課で検討中である。

問 町有地の管理はどうか。管理公社の機能を別に作るのか、これまでも課税面積と現況面積の違い、公共用地の未登記など町民からの不満の声もある。総合的な土地管理はどのようにしていくのか。

答 町長 今回は財政課が担当となるが管理体制についても検討している。

問 利用促進に寄与する借主の適正さは担当のみでは決められない。町民も納得できる選定の仕組みは考えているのか。

答 町長 移転跡地の活用を希望している個人や企業が、町の復興に寄与するかどうか判断が必要とされる。地域の歴史や風土など特性に応じた企業誘致を行い、地場産業の活性化や雇用が確保される。居住系や公共系、緑地系との連携した利用ができ、交流と協同によるにぎわいを創出できるように進めていきたい。

問 周辺の土地も含め買収した土地の情報と利用実態の把握が必要である。利用者の要望を柔軟に受け入れるため、土地集積の可能性を含めた情報発信の考えは。

答 町長 マスコミ、広報しちがはまを想定している。他に可能な限り周知する。

問 周辺の土地も含め買収した土地の情報と利用実態の把握が必要である。利用者の要望を柔軟に受け入れるため、土地集積の可能性を含めた情報発信の考えは。

答 町長 マスコミ、広報しちがはまを想定している。他に可能な限り周知する。

問 町有地の管理はどうか。管理公社の機能を別に作るのか、これまでも課税面積と現況面積の違い、公共用地の未登記など町民からの不満の声もある。総合的な土地管理はどのようにしていくのか。

答 町長 今回は財政課が担当となるが管理体制についても検討している。

問 賃貸で得た代金は、国への返還義務が生じるのか。

答 町長 国への返納はない。町の歳入となる。

問 周辺の土地も含め買収した土地の情報と利用実態の把握が必要である。利用者の要望を柔軟に受け入れるため、土地集積の可能性を含めた情報発信の考えは。

答 町長 マスコミ、広報しちがはまを想定している。他に可能な限り周知する。

問 町有地の管理はどうか。管理公社の機能を別に作るのか、これまでも課税面積と現況面積の違い、公共用地の未登記など町民からの不満の声もある。総合的な土地管理はどのようにしていくのか。

答 町長 今回は財政課が担当となるが管理体制についても検討している。



わたなべ あつし
渡 邊 淳

買収後の土地利用策は町長 広く方針を検討中

問 災害危険区域に指定され、居住用建物の建築ができない土地は今回のガイドラインで業務系に指定されている。業務系用地として利用するには何らかの法整備が必要と思うがその対策は。

答 町長 総合計画の位置づけや都市計画の見直しも考えられる。現在、県や国交省、復興庁の助言をもらいながら検討中である。

問 近隣の町では無償貸し付けも考えられているようだ。利用促進を図るなら無償も選択肢の一つだが、有償貸し付けの理由は。

答 町長 借地料の設定は利用促進を最大限に考慮しながら検討する。

委員会レポート これも議会の仕事です

総務

本委員会では平成23年3月11日東日本大震災以降、町民バスの運行経路が変更となり、今後いかにあるべきか調査しました。「住民が利用しやすい交通機関の確立について」を主テーマと定め、次の2つの調査事項に取り組んできました。

①ぐるりんご運行の検証と改善
②交通システムの多様な活用
昨年9月から協議を重ね調査を終了しました。その結果、調査期間中に少額回数券の発行が運行会社の協力により実現しました。



利用しやすい運行を

ぐるりんの調査活動をまとめました

調査結果を、今後のぐるりんご運行検討に役立てるため、次の事項をまとめました。

- ①町内運行を新設し、東回りや西回り路線、または役場を中心とした8の字路線を確保し利便性向上を図る。(公共施設、医療機関、金融機関、ショッピング等へのアクセス強化)
- ②朝夕、本塩釜駅方面までの運行時間短縮。
- ③学生の利用増を見込む

とするならば学割回数券や定期券の発行。④従来のダイヤは非常に複雑なので、1時間ごとの定時運行などわかりやすくする。

⑤本塩釜駅からの下りに12台の増発が望まれる。

⑥拠点となる駐車場の確保が必要である。

⑦町外への利用者に対する運賃体系の見直し。1日も早い対応に期待し、注視していきます。

教育民生

子どもを取り巻く環境は

委員会ではこれらの説明を受け、今後の具体的な取り組みを「次世代育成支援」とし、町内にある保育施設や公園整備の状況、子ども医療費等の調査をすることとしました。



育てやすい環境を

新たな所管事務調査を「地域福祉の充実策について」としての委員会を7月31日に開催し、町の地域福祉計画(高齢者福祉計画・介護保険事業計画・次世代育成支援行動計画・障害者計画・障害者福祉計画)を担当課から、計画の進捗や課題の説明を受けました。

高齢者・介護に関しては、来年度から実施される「医療・介護総合法」の「介護施設」に入所できるのは原則、介護度認定3以上となる」などが問題です。子育て支援では、来年度から「子ども・子育て支援新制度」が実施され、学童保育の充実や多様な保育の提供などが盛り込まれている等の説明がありました。

産業建設

経済効果につながる観光を



観光協会と懇談しました

広報

議会だよりには議員全員で作るもの



編集姿勢を学ぶ(吉岡町)

平成26年6月定例会以降、調査事項を「観光振興策について」と定め、新しい調査活動に取り組んできました。7月30日委員会を開催し、町の観光に対する取り組みと現状を、県観光課との連携●本町と多賀城市の観光協会一本化への動き●震災前と震災後の観光に対する町の取り組み状況の変化

震災後の観光に対する取り組みは明らかに変化しており、菖蒲田海水浴場が復活しても、以前のような民宿営業は難しくなると考えられます。さらに、花洲浜の業務系エリアを活用して観光につながるものが求められています。これらを踏まえ協議した結果、8月19日七ヶ浜町観光協会と懇談会を開催しました。会長をはじめ4人の役員の方が

本年8月発行の議員研修誌「地方議会人」に、本町の議会だより第119号のクリニックが掲載されました。広報編集コンサルタント芳野政明氏の講評ではおおむね良い評価を受けました。「住民目線で伝えること」「住民の声を多様に聴取すること」などの留意点が示され、現在の本委員会の方向性が間違っていないこと、今後の編集姿勢の重要な指針となりました。

また、7月には東京で議会広報全国研修会があり、広報委員3人が参加しました。その内容の一部を紹介します。

●わかりやすく伝えるためには、読み手がどのように感じているかを推測し、短文で重要なことを先に述べるのが大切で

あることを再認識。

●読み手の視線の流れを考え、視線の誘導を図った紙面表現が重要。

●誰のために書くのか、読み手が理解できるかをシミュレーションし、読み手と対話しながら書くことが大切。

8月5・6日の2日間、群馬県吉岡町と福島県猪苗代町を視察しました。吉岡町は表紙写真や紙面構成が優れているとの評価を受けています。また、議員全員が協力して町民の中からアドバイザー

1を選出する等、「議会だより」は議員全員で作るもの」との姿勢を貫いていることに感銘し、見習うことの必要性を痛感しました。

猪苗代町は表紙写真の優秀さが認められています。専門的に写真を撮ります。専任的に写真を撮る数枚の中から選ぶもの。われわれの努力が足りないこと、子どもの写真に頼らない被写体の選定を学びました。今後とも読みやすい議会だよりを目指し努力します。

元気にはばたくわが町のサークル

【 体 育 協 会 】



みんなで楽しくやっています

A Q メンバー構成は、約50人で、チームや個人として登録しています。

A Q 結成のきっかけは、結成当時の数年前に町営テニスコートが整備され、町内のテニス人口が急増したことから始まりました。

A Q 設立時期は、昭和58年4月です。

庭球(硬式テニス)協会
代表 吉田康宏さん(汐)

A Q 町や議会に望むことは、町営テニスコートを昨年秋にフットサル兼用として改修していただき、テニスが生き甲斐で生涯スポーツとして活動している私たちにとっては、とてもありがたいことです。また、議会の方々には町の復興等を第一に考えてもらうと同時に、「スポーツ」や「文化」活動へもより一層目を向けていただきたいと思います。

A Q 今後の目標は、メンバーの平均年齢が毎年確実に高くなっていますので、若手育成の場を作ること、多くのチームや個人の方々に加入していただくことです。

A Q 活動状況は、結成当時から、毎年秋に「七ヶ浜テニス大会」を開催しています。また、テニスは基本的に個人競技ですが、一つの団体として活動することにも意味があります。



楽しくプレー



シャイでヒョーキンなメンバー

A Q 設立の目的は、適正な体重の維持を基本にした健康管理と精神力の強化、遠征後の懇親会などを楽しむことを目的としています。

A Q メンバー構成は、町内中心に男子23人、女子15人の38人です。

A Q 設立時期は、会長を中心に平成6年、チーム名をアクアセブンとして設立。

綱引き協会
会長 星 博さん(松)

A Q 町や議会に望むことは、町内の各スポーツ施設はいろいろあるが、公式競技規模の施設を望みたい。また、議会には町民綱引き大会でアクアセブンと議員の対戦を望みます。もちろんハンディーあります。

A Q 活動状況は、



心をひとつに

【 文 化 協 会 】



琴伝流大正琴の大会で

A Q 結成の経緯は、設立以前は文化祭に大正琴の参加はなかったため、寂しく感じていた桑島珠子(康珠)先生を中心に設立しました。

A Q 設立時期は、平成7年4月設立。

大正琴音楽会
代表 佐藤近子さん(松)

A Q 町や議会に望むことは、子どもたちへ伝統芸能を継承していきたくので町や学校からの応援をお願いします。また、議会にはなかなか傍聴に行けないので、各サークルの練習後に議会報告会などを開いて身近な議会になってほしいと思います。

A Q 活動状況は、介護老人ホームなどの福祉施設で演奏することで、社会福祉の一助となることに生きたいを感じ町の小さなエンターティナーとしてこれからも活躍したい。また、宮城県大会や東北大会にも参加しています。

A Q メンバー構成は、楽しい仲間づくりを目的として最初は7人からスタートし現在は14人で活動しています。



真剣なまなざしで練習中



生涯学習フェスティバルでの演舞

A Q 結成の動機は、今井先生の作曲した「七ヶ浜節」に大江先生が振付けたのがきっかけです。

A Q メンバー構成は、現在は12人で構成しています。

A Q 設立時期は、昭和59年に家元の大江ヒサ先生を中心に新日本舞踊樹峰流の樹峰会を設立。

サークル樹峰流
代表 阿部信子さん(亦)

A Q 町や議会に望む声は、スポーツ面は活発だが文化面は薄いので、子どもの育成に文化協会を利用して、育てる喜びを感じられるようになったらと思っています。また、議会には活動している現状を見てほしい。文化祭や役員会などの機会に出前講座のような企画で議員の生の声を聞かせてください。

A Q 活動状況は、本町と多賀城市の各文化祭や生涯学習フェスティバル参加と福祉施設へ訪問しています。

A Q 楽しみは、舞の姿勢、技術を学び礼儀を教わり、人と人のつながりを踊りの間から学んでいます。団地で踊る際、その間をとったときの喜びはかけがえのないものです。



大江先生と一緒に

第7回 議会報告・懇談会は

11月15日(土)

11月16日(日)

に開催

時 間	会 場	対象地区	会 場	対象地区	担 当
午前 10時～11時30分	東宮浜公民分館	東 宮 浜	第1スポーツ広場 仮設住宅集会所	第1スポーツ 広 場 仮設住宅	第1班 大町 睦夫 我妻 周悦 岡崎 正憲 角 靖志 郷右近剛史
午後 2時～3時30分	要 害 公 民 分 館	要 害 林	遠山地区避難所	遠 山 山	
午前 10時～11時30分	生涯学習センター 第1・2研修室	菖蒲田浜 生涯学習センター 前仮設住宅	七中グラウンド 仮設住宅集会所	七中グラウンド 仮設住宅	第2班 歌川 渡 遠藤 久和 糸久 博 遠藤 喜二 鈴木 勝美
午後 2時～3時30分	花 浏 浜 消防ポンプ車置場	花 浏 浜	県漁協組合七ヶ浜支所 代ヶ崎浜仮設会議室	代ヶ崎浜 亦 楽 火 力	
午前 10時～11時30分	湊 浜 公 民 分 館	湊 松 ケ 浜	吉 田 浜 コミュニティセンター	吉 田 浜	第3班 阿部 慶也 阿部 和夫 千葉志美枝 渡邊 淳 鈴木 初雄
午後 2時～3時30分	汐見台第2分館	汐 見 台 汐見台南	湊浜旧町営住宅跡地 仮設住宅集会所	湊浜旧町営住宅 跡地仮設住宅	

※都合の良い会場にお越しください。



多くの方の参加をお待ちしています

②町や議会へ、地区の課題や意見・要望など皆さんの声を伺います。

次に

平成25年度の各種会計決算などを説明しますので、この議会日より12月11日と広報しちがはま11月号を持参願います。

①9月定例会の概要を報告します。

内容です

東日本大震災で、町内の数多くの公民分館が流失したり大規模半壊などの壊滅的な被害を被りました。公民分館の再建などの質問のゆくえを追いました。

質 問：公民分館の再建計画は

公民分館の再建を住民の意見・合意で進めていく考えは。
＜平成24年12月定例会＞

答弁

町長：地区住民によるワークショップを開催し、住民による再生基本プランの策定を進めている。

そして

地区毎に住民による
ワークショップを開きました。
(各地区毎に6～7回)

地区避難所の
完成時期が決まりました。

被災した公民分館は
地区避難所として再建

地 区	完 成 予 定
遠 山 地 区	平成26年9月
湊 浜 地 区	平成26年11月
松 ケ 浜 地 区	平成27年2月
要害・御林地区	平成27年3月
代ヶ崎浜地区	平成27年5月
菖蒲田浜地区	平成27年3月
花 浏 浜 地 区	平成27年9月
笹 山 地 区	平成27年10月



工事中の湊浜地区避難所

クイズ？

＜3択から選んでね＞

問1 年4回発行の議会だよりは30年が経過しました。今回は何号でしょうか。

- ① 121号 ② 100号 ③ 210号

問2 安倍第2次内閣では5人の女性大臣が誕生しました。本町の議会には何人の女性議員がいるでしょうか。

- ① 0人 ② 1人 ③ 2人

問3 復興事業のうち、高台住宅団地造成や災害公営住宅建築工事で工事変更契約がありました。変更理由の内「インフレスライド」とは何でしょうか。

- ① 予期することができない特別の事情（インフレ等）で、契約金額が不適當になった。
② 計画が大きく変わった。
③ 工事が予定通りに終わらない。

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、
議会へのご意見を書いてお送りください。
(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を
進呈します。

あて先：〒985-8577七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
七ヶ浜町議会事務局 議会だより係
Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成26年11月14日（当日消印有効）

前号の答え：問1 ② 問2 ② 問3 ①

当選者：我妻昭一さん、末永はつさん、
伊藤淑子さん

当選者からひと言

●議員さんは、課題や問題点が多く大変だと思いますが、町民との話し合いを多く持ち、解決することに努力してもらいたいです。

表紙に寄せて

今回の表紙は、8月24日に行われた菖蒲田浜の諏訪神社神輿渡御の1コマです。先導役を務めた伊丹敏男さんに様子を聞きました。



いたみ としお
伊丹 敏男さん
(菖蒲田浜)



Q 今年の特徴は。

A 神輿を車に載せて神社から降ろす予定が、急きょ担いで階段を降りることとなりました。大変でしたが、皆さんは大喜びで好評でした。

Q 担ぎ手にはボランティアが多かったようでしたが。

A 震災以降3回目ですが、地元の若者は7～8人だったので今回も全面的に協力をいただきました。

Q 今後の見通しは。

A 住宅がまとまれば、若手の参加も期待できるのかと思います。

Q 仮設住宅を巡回しましたが、お住まいの皆さんの反応は。

A 参拝ができてありがたいと喜ばれ、清めた塩もお渡ししました。

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は12月3日開会予定ですー

面倒な手続はございません。
どなたでも気軽に傍聴することができます。
お誘い合わせの上ぜひお越しください。
詳しくは議会事務局まで TEL357-7435
または、町ホームページ「町民便利帳」を
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

発行責任者	議長	議員	委員	副委員長	委員	議会広報編集特別委員会
佐藤 梶信	渡邊 淳	遠藤 喜二	角 靖志	千葉 美枝	糸久 博	岡崎 正憲

また、初夏から秋にかけて近年にない異常気象の連続でした。私たちが支援を受けた方々も災害に巻き込まれたかも知れません。各種団体や議会も義援金を集めました。私たちがどのような支援ができるものか考えさせられます。私たちの一日も早い復興が最高のお礼なのかも知れません。

議会だより121号の編集が終わりました。平成25年度の決算を中心に、莫大な交付金を受けた各種復興事業が実施され、着実に歩み始めたことが伝わりましたでしょうか。でも、まだ先が長いことには間違いありません。少しでも早い復興を願うものです。

編集後記

